

県委嘱「学力充実プラン」推進事業における豊川市の取り組みについて《計画》

○平成２７年度の全国学力・学習状況調査結果を市全体でとらえると、

- ・小学校では、国語・算数ともに全国と比べて平均正答率が低く、特にＡ問題(身につけておくことが必要な知識を問う基本問題)が低い。
- ・小学校では、全国と比べ、正答率の上位者の割合が少ない。
- ・中学校では、国語も数学もほとんどの内容で全国の正答率を上回っている。しかし、上位者と下位者に二分化している学校もあり、基礎学力に不安のある生徒がどの学校にもいる。
- ・小中学校とも、宿題に取り組む子は多いが、家庭での予習復習の時間が全国平均に比べ少ない。

○平成２７年度は、全国学力・学習状況調査の結果を各校で分析し、全校体制で具体的な取り組みを考え、実施した。



○昨年度の各学校の「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた取り組み」を見てみると、

- ・基礎基本の定着を図るために何らかの短時間学習を取り入れる・・・ ９/３６校
- ・基礎基本の定着を図るために繰り返し練習やミニテストなどを行う・・・ １７/３６校
- ・家庭学習について工夫していく・・・ １５/３６校
- ・わかる授業をするための具体的な工夫・・・ ３６/３６校

などの取り組みが見られた。



【実施内容】

１ 取り組み内容

(１)「**基礎基本の定着**」「**わかる授業**」に重点を置く。各学校で自校の取り組むべき課題に合った手だてを考えて実践する。

①「**基礎基本の定着**」のための手だて…学校ごとの手だてによる

- 例)・短時間学習（帯時間や授業のはじめ５分間）で、一人一人のレベルにあった繰り返し学習
- ・子どもにとってより効果的な家庭学習の工夫

②「**わかる授業**」のための手だて…全校「**豊川の授業 １６のポイント**」を活用

- ・『豊川の授業 １６のポイント』から今年度特に重点的に取り組みたい項目を学校ごとに選び、職員で共通理解を図り、全校をあげて取り組む
- ・県の『学力・学習状況充実プラン』の活用

(２)パイロット校を指定し、外部講師等の招聘、授業研究会や講演会を開催して実践をすすめる。

- ・先進的な取り組みの紹介や、授業での指導を受け、市内全体に広げる。

(３)取り組みと成果を集約

- ・取り組みと成果について、県義務教育課のＷｅｂページにて公開する。
- ・リーフレット等にまとめ、全校に配付し、共有、活用を図る。

2 活動計画

- 4月 校長会役員会にて提案
- 5月 校長会にて概要説明
- 6月 各校計画書提出
- 8月 授業力向上講演会（講師：岐阜聖徳学園大学 玉置 崇 教授）
- 10月 研究推進会議（教務主任会）にて各校の取り組みについての中間報告・協議
- 10月 市内研究発表会（パイロット校を中心に）
- 1月 研究推進会議（教務主任会）にて各課題への取り組みについて中間まとめ
- 2月 校長会にて事業のまとめ発表